

令和6年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和6年4月12日（金曜日）

○日時 令和6年4月12日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 網走市観光振興計画について

○出席委員（8名）

委員長	井戸達也
副委員長	石垣直樹
委員	澤谷淳子
	立崎聡一
	深津晴江
	松浦敏司
	山田庫司郎

○欠席委員（1名） 小田部 照

○議長 平賀貴幸

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（2名） 金兵智則
里見哲也

○説明者

副市長	後藤利博
観光商工部長	伊倉直樹
観光課長	井上博登
観光商工部参事	田端光雄

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
総務議事係長	和田亮
総務議事係	山口諒

午前10時00分開会

○井戸達也委員長 おはようございます。

ただいまから、総務経済委員会を開会いたします。

初めに、小田部委員より欠席の届出がありましたので御報告いたします。

本日の委員会ですが、所管事務調査であります。

それでは議件1、網走市観光振興計画について説明を求めます。

○井上博登観光課長 それでは、まず初めに資料1号を御覧ください。

網走市観光振興計画について御説明をさせていただきます。

1つ目の経過でございますが、2023年度末までの5年間を見据えた計画として策定された網走市観光振興計画2019は、コロナウイルス感染拡大の影響により、現行計画の目標が未達成となる検証結果が明確となり、今後の観光動向や見通しについて、専門家からもその時点でお示しするのは困難であるというお話があったことから、新計画の策定を見送り、計画期間を延長し一部見直しを行いました。

内容については、当市における観光の基本姿勢や取り巻く環境を抱えている課題等について、継続的な事項や基盤となる部分については、現行計画を生かしつつ、観光をめぐる近年の情勢やコロナ禍を経た観光需要の変化を踏まえ、修正点や新たに盛り込むべき要素を整理した上で、変更計画を2024年版へ更新することといたしました。

2024年度は新計画の新計画策定の基礎となる情報集積として、デジタルマーケティング事業を継続実施するほか、観光客の行動実態や観光客意識等の把握、網走市内における観光消費額及び経済波及効果の推計を行うため、観光消費動向調査を実施します。

令和5年3月31日に閣議決定されました観光立国推進基本計画でも、観光消費額の拡大をキーワードに戦略に取り組むこととしており、観光消費額を重視することが必要と考えることから観光消費動向調査の結果を踏まえ、新観光振興計画の策定の検討を行いたいと考えております。

今後の展開については、引き続き観光動向を注視しながら、必要に応じて現行計画内容を2025年版に更新するとともに、新計画の策定期間についても検討を行ってまいります。

続いて、2つ目の計画の更新に係る協議については、観光事業者等で構成される網走観光戦略会議において協議を実施しております。

この戦略会議には、現計画である網走市観光振興

計画2019の策定に携わっていただいた専門家の方が入っておられますので、この計画更新を議論する場として適当と判断したところです。

続いて、3つ目の現行計画の更新点についてですが、資料の2枚目にあります網走市観光振興計画2019更新案のとおり、現行計画内の50ページから51ページにある戦略及び実施施策一覧と、55ページから63ページにある事業内容の一部を更新しております。

更新内容としましては、1点目として現行計画55ページにありますICTとメディア、並びに拠点施設を利用した情報発信力の強化を図る戦略の中に新たな施策の方向性として先進的技術を活用した情報の集約・分析の項目を追加しました。

観光客の属性や動向などの情報を把握し、プロモーション戦略を立てるため、ウェブサイトのアクセス解析ツールであるグーグルアナリティクスを用いた本市観光ウェブサイトの分析やデジタル広告視聴者のウェブサイトへの流入状況を分析し、より効果的なエビデンスベースでの政策立案を図ります。こちらについては、今後の施策を検討する上でベースづくりに大きな役割を果たす観光マーケティング事業を明文化しました。

2点目に、現行計画61ページにありますアドベンチャーツーリズム推進のためのコンテンツを整備する戦略にサステナビリティの要素を盛り込んでいます。

サステナブルについては訪日外国人を誘致する上でも、重要なキーワードとなっているかと思えます。アドベンチャーツーリズムや、地域性を生かした観光メニューを造成する上で欠かせない自然環境などの地域素材が将来的に失われないよう配慮することから、そのメッセージを前提として追加いたしました。

3点目は、現行計画63ページにあります認知度・イメージアップによる新たな客層の観光需要を創出する戦略にコンテンツツーリズムの項目を追加しました。

網走においても、関連のある作品や誘客力のあるコンテンツ等との連携を図り、新たな客層の誘致を行うための施策を講じていきます。

以上、網走市観光振興計画に係る経過と現計画の延長及び更新内容についての説明を終わります。

○井戸達也委員長 ただいまの説明に対して質疑等ございますでしょうか。

○山田庫司郎委員 今、御説明をいただきました。ちょっと再確認させていただきますが、2019年版は2023年度で計画が5年間終わりますして、24年度から新計画の下に動き出すというのが前提で予算、ちょっと50万何ぼだったか金額を忘れたのですが、議会も承認しながら24年度に計画をつくると、こういう前提で動き出したのだというふうに思っています。

それで、ここに説明あるように検証結果がコロナの関係等も含めて目標が未達成となる、やっぱり明確となったということで、24年度に新計画ができるのは非常に難しいということで24年度については、19年度版を更新する中で1年間はそれで対応していくと、こういう説明で動いたと思っています。

それで、今回は新たな提示として、2024年度をまたここで、新計画、新たな計画がやっぱり、これはまた難しい状況が出来たということで解釈していいのか。それで25年についても、新たなやっぱり部分を更新しながら、もう1年間、新しい計画はちょっと難しいですが、それを基にして、観光についてはベースにしてやっていきたいと、こういう提案ということで考えてよろしいのでしょうか。

○井上博登観光課長 まず現状についてでございますけれども、まず先ほどもちょっとお話をさせていただきましたが、まず、観光消費額の部分が国のほうでも今、意識されているところでもございますので、我々としても一旦、8年ほど前に観光消費動向調査を実施していたのですけれども、それが一定の年数が経過して、現状も大きく今変わりつつあるというところで、まずはそちらの調査のほうを先に進めさせていただいて、その結果を踏まえたものを生かして新計画の策定に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○山田庫司郎委員 要するに、ここにも書いています2024年度は、新計画策定の基礎となる情報集積、今、課長が御答弁したような内容も含めてなかなか資料が集まってなかったという状況なのだと思いますが、24年でこの調査をしっかりとやってですね、そのベースを基に25年から新たな計画で動けるよう1年間また計画の作成に尽力したいと、こういう内容ですか。

○井上博登観光課長 山田議員おっしゃるとおりですね、そういった流れで取り組んでいきたいというふうに考えております。

○山田庫司郎委員 いろいろ、やっぱりつくには、いいものをつくるということを考えなければも

もちろんならないわけですから、近々のやっぱり新たな情報というのは、どんどん集めたいというふうに思うわけですが、そう考えますといつまでたっても新しい計画はできないわけでありましてね。ただこれ、直営といいますか、市で計画をつくっているのでは僕はないと思っているのですが、委託先がもしあるのであれば、その辺の問題はないのでしょうか。

それとこれは計画ですから、ほかの事業とちょっと違うのかもしれませんが、もし委託をしているのであれば、予算は大丈夫なのですか、当初予算で。その辺も含めて。

○井上博登観光課長 まず、今年度につきましては、先ほど申しました観光消費動向調査の事業をまず、1年かけて実施したいと考えておりますので、その予算については、計上させていただいたところなのですけれども、この結果が1年かけてまとまるようなものになりますので、新計画につきましては2025年度に策定委員会が初めてつくられていくような、最短でいくとそういう流れになるかと思っておりますので、そちらについては改めて予算案を御提示させていただいてというふうに考えております。

あとは、事業のほうもですね、直営で全て計画を策定しているものではなくて、前回もプロポーザルのもとで観光隣接している事業者のほうに委託をかけてですね、一定のそういった計画案というものを一緒になってつくっているというところでございます。

○山田庫司郎委員 確かに今、課長が言われたように調査のやつ、今年度も予算に計上になっていたと思いますから、そこは通ったというふうに思っていますが、それを今の答弁で考えますと、その調査結果を24年までやっていただいて、その結果を見て25年で作成をします。そうすると、26年に新たな計画ができるという流れですね。それで、更新していきますから、必要なところについては直しながら、2019年度の計画書をベースにして観光計画については動いているのだと思いますから、心配ないのだとは思いますが、これちょっとその事業の内容によって23年から22年に委託したのかな、流れていくと。23年から。いや、それでプロポーザルとは言いましたが、それ契約している業者さんがいるはずですから、それこんなに延びても業者さん、いいんですかこれ。

それと、これ期限というのは更新しながら、2年

の計画、1年の計画をこれつくれよということでお金を払うことになるわけですね。成果品が出来た段階で。こうなりますと2年、3年ずっと遅れていて、最初の業者とずっと一緒だということは、これ契約上大丈夫なのか、その辺も含めて。

○井上博登観光課長 まず、前回策定いただいた事業者さんがですね、実際策定の委員会にも当然入っていただいた委員さんがですね、今我々のほうで取り組んでいる網走観光戦略会議の中のオブザーバーというような形で参加をさせていただいております、その方とのちょっと意見交換を踏まえてですね、先に述べましたように、なかなか、当時の時点では今後の計画という、見通しが難しいというところで、今ある計画を最新の部分を取り入れたりしながら進めていきたいと思いますというお話をさせていただいたところです。

計画につきましては、あくまでも2019年から2023年までの計画ということで、当時、委託事業者さんにはお願いをして作成したところでございますので、それを我々のほうでこの計画を生かしつつ、部分的には修正を行いながら、もう1、2年間につきましては、まず現状を生かしつつ更新していきたいということで進めております。

○山田庫司郎委員 いや、聞いていることは業者さんが大丈夫なのですかということ。例えば最初の契約は何年までに完成させて、終わったら、あなたたちはもうそれで離れますよと、事業から。これが本当の契約なのですよ。これが、だんだん、だんだん延びて、3年も4年もなっているわけですね。それは関係ないですか。聞いていることが違うのかな。

○井戸達也委員長 暫時休憩します。

午前10時15分休憩

午前10時22分再開

○井戸達也委員長 休憩前に引き続き再開します。
答弁から。

○井上博登観光課長 次期計画に向けたスケジュールと予算感の部分のお話についてですが、まず、先ほどお話ししました2024年度中に観光消費動向調査を実施いたしまして、その結果を踏まえて、2025年度予算にですね、新たな新計画に向けた策定に係る費用のほうを計上するような流れで進めていきたいというふうには考えております。

○山田庫司郎委員 いや、私のちょっと認識が違っていたというふうに思いますので、質問と答弁がち

よっと噛み合わなかったのだというふうに思いますが、私の頭の中では新しい計画書をつくるためにある程度の予算を計上して、委託業者というかお願いする業者も決まって動いてきているというのが前提だというふうに頭に入れて聞いていましたから、だからそれだったら、1年遅れた、2年遅れた、3年も遅れるのに、お願いしている業者さんに迷惑をかけるか、お金は大丈夫なのかということも含めて聞かせていただいたのですが、今、答弁いただいたようにそのことについては、今は、更新をするがためにいろいろと戦略会議の中で議論しているというそういう経過ですから、今度、24年度でマーケティングを含めて調査をしたその資料を集積してですね、25年度に計画書をつくるということになれば、25年度の新年度予算で計上することもあり得るという説明をいただきましたので、納得をさせていただきます。

ただ、更新をしていますから、網走市の観光行政にとってそんなに問題ないのだろうというふうに戦略会議でやっていますからいいとは思いますが、できる限り早めに新しい計画書を作成して、それをベースにやっぱり進めていくということをぜひお願いさせていただきたいと思います。

○井戸達也委員長 ほかに質疑ございませんか。

○深津晴江委員 経過につきましては、理解させていただきたいと思います。やはり、コロナのため観光客など明らかに減っていたというのは、十分に理解できるところではございます。

ただ、いろいろな町でそのコロナが明けた後にどうするかというところを考えて、積極的に計画を立てて実施している市町もあります。評価ができないので次の計画を立てませんというのは、私はいかがかなと思うのですよね。

継続していくということもわかりますし、新たに追加されたところもあるのですが、やはり、このように評価ができないので新たな計画ができませんというよりは、もっと積極的に前向きにコロナが明けた後には、網走はこういう観光政策をしていくのだという計画も必要ではなかったかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

○井上博登観光課長 まず、現状の部分で観光戦略会議のほうでいろいろと議論をさせていただいて、まず今後、早速ですね、今後こういうものに取り組んでいかなければいけないじゃないかというものを網走観光戦略会議の中で、数回にわたってちょっと

議論をさせていただいておりますので、その部分を現計画にちょっと反映をさせていただいているというところがまず一つです。

そのほかに、先ほども申しました観光消費動向調査を先に進めていったほうが、より新計画に向けて、ちょっと成果状況も変わってきておりますので、そのほうが良いのではないかとということで、我々としては、そういった流れで進めているところでございます。

○深津晴江委員 この消費観光動向の予算についても、計上されていたのは理解しておりますので、具体的にどんな経過、実績があって、次、本当にどんな計画になっていくのかっていうところは楽しみなところではもちろんありますので、やっぱり積極的なというのでしょうかね、前向きな計画をやりながら修正していくっていうところも必要かなっていうふうに思いますので、すぐく網走市の行政としましては、よく言えば丁寧だなというふうには思っていますが、もっと攻めの行政も必要な部分もあるかと思っておりますので、こういう結果をぜひ、積極的に発信していただければなというふうに思います。

あと、確認なのですが、新規で追加された部分に関してなんですが、アドベンチャーの体験型、網走市は力を入れようというところはあるのですが、この位置づけ、中には民間業者っていうところであって、やっていらっしゃる方がとても頑張っているのは、私も理解しているところではあるのですが、市との位置づけというのでしょうか、そこら辺をどのように捉えているのか確認させていただきたいと思います。

○井上博登観光課長 位置づけといいますか、我々も網走市観光協会さんとも当然連携をして実施しておりますので、そういった中で民間体験事業者さんも、いろんな取組をされていますので、そういったところにいろんな委託事業等を通して、アドベンチャーツーリズムについても進めているといったところでございます。

○深津晴江委員 それでは、観光協会さんを通してというか、そこに委託した部分に関して観光協会が民間に委託してという事業だというふうに理解してよろしいでしょうか。

○井上博登観光課長 そういったケースもございます。

○深津晴江委員 それでは、それ以外のケースもあるのですか。市との関係性においていかがでしょう

か。

○井上博登観光課長 市が直接、補助という場面はなかなかないかもしれませんが、市の公式ホームページ等でこういった体験事業が出来ますよっていうものをいろんな事業者さんの紹介という部分では、我々も一緒になって取り組んでいるということでございます。

○田端光雄観光商工部参事 体験型観光について加えての御説明をさせていただきますが、先ほど井上課長から答弁いたしました、補助的な部分もございますし、それ以外に例えばですけども、自然公園法の区域でこういう事業をやるには、こういう許可が必要ですよという国の、道のルールがございます。

そういった部分については、我々もしっかりですね民間事業者さんにコミットして、こういうふうにやっていけばスムーズに進んでいくですとか、そういったオブザーバー的な立場ではございますが、観光協会、民間事業者の民間体験事業者の方々と連携して事業を進めているところでございます。

○深津晴江委員 関係性については理解いたしました。

市民の中には、何やっているのだらうねというようなところの疑問を持たれる方の話をよく聞きます。何かやっているみたいなのだけでも、何をやっているのかな、どうしたらいいのだらうかというようなお声もありますので、ぜひ市もバックアップしている部分ですので、あとは観光というところでは、引き続き大事な部分かと思っておりますので、もっと周知とか、わかりやすく出来たらいいかなというふうに思っていますので、ぜひそこら辺をよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○井戸達也委員長 ほかに質疑ございませんか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではこの件については、了承ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上をもちまして総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前10時31分閉会